

BIG BEN

- p1 ビール醸造所見学バスツアー
- p2 日本クラブ会長交代
- p2 写真探訪：真夏の日光浴
- p3 領事便り：在外選挙人名簿登録
- p4-5 短信：日本人社会の動き
- p6 ジャパン・ハウス・オープン
- p7 エッセー：イギリスで脳トレ
- p7 第 56 回年次ゴルフ大会結果
- p8 理事交代、同好会案内

日本クラブ・バスツアー

ビール醸造所見学とカンタベリー観光

日英交流促進委員会企画によるケントのハバシャムにあるシェパード・ニーム・ビール醸造所 (Shepherd Neame Brewery) 見学バスツアーが5月27日(日)に4年ぶりに行われた。

当日は雷雨も予想されていたが、前日の悪天候がウソのような快晴に恵まれ、ウォーターレー駅近くのバス出発点には遅れる人もなく出発時間の朝9時には参加者全員が集まった。

シェパード・ニーム醸造所は英国最古の醸造所(1698年)と言われており、伝統的な英国独特のエールをはじめ一部ラガービールも製造している。「英国にはエールがあり、世界の他の国にはラガーがある」と言われているが、イギリス人にとってはエールは自慢であり、独特の意味を持っている。

醸造所見学ツアーではビールの製造過程に沿ってガイドの説明を受けた。大麦の麦芽から出来るモルトの製造過程でビールの色のつき方が違ってくこと、また伝統的なエールはイースト菌が発酵槽の上面で発酵するが、ラガーの場合には逆に下面で発酵するとの説明があった。



●リアルエール

ラガーはフィルターにかけイースト菌を取り除きケグ (Keg) という樽に入れて炭酸ガスを注入して出来上がった製品として出荷される。パブでは地下室で冷やして出すところも多い。逆にエールの場合にはフィルターにかけることなく、そのままカスク (Cask) と呼ばれる樽に入れられ、発酵の続く生きたままのビールとして出荷される。パブに着いた後は地下室に寝かされ、最適な状態でポンプからグラスに注いでお客に出される。まさに生ビール中の生ビールと言えそうだが、最近は発泡性の強いラガーを好む若者が増え、エールの消費量が減り続けており、伝統的なエールを保存しようという Campaign for Real Ale (CAMRA) という協会も存在している。

製造過程見学後はこの醸造所で製造する2種類のラ

(2面へ続く)



ガーとスタウト（黒ビール）を含む6種類のエールを試飲。参加者はビールの種類の多様さと味の違いを見て、嗅いで、味わって、楽しく勉強した。

●カンタベリー観光

蒸留所見学の後は近所の15世紀のパブで伝統的な英国料理の昼食を取り、カンタベリーへ。大聖堂はサービスが実施されており中に入れなかったが、この日は大聖堂の敷地内にある教会関係者の住居のプライベートガーデンが一般公開されており、参加者は普段入れない8か所のガーデンを見て回ることが出来た。



日本クラブ新会長紹介

2018年の日本クラブ会長が久米敦司氏の帰任に伴い、4月1日より藤谷泰之（ふじたに やすゆき）氏に交代しました。



1958年 生まれ
1982年 東京大学大学院船舶機械工学コース卒業
1982年 三井物産入社
1994年 米国三井物産ニューヨーク本店
2012年 欧州・中東・アフリカ副本部長兼中東三井物産社長
2015年 執行役員 コーポレートディベロップメント本部長
2016年 常務執行役員
2018年 専務執行役員 欧州・中東・アフリカ本部長兼欧州三井物産社長

写真探訪 Around London

【真夏の日光浴】

夏を迎えたイギリスは温暖化の影響が気温も上がり、太陽が顔を出す日も多くなった。夏休みには家族や友人たちと海岸へ出かけ、泳ぐこともせず一日中海岸で寝そべる人も多いが、それまで待てないと言う人は、ちょっと太陽が顔を出すと近所の公園へ出かけて日光浴にいとまがない。ロンドンのオフィス街でも、昼休みになるとテイクアウェーの寿司やサンドイッチを手にした人たちがどっと公園や広場に押し寄せ、日照りの中でランチを食べ、それが終わるとごろりと横になって、昼休みが終わるギリギリまで昼寝兼日光浴を楽しむ。中にはピキニを準備してきている本格的なサンベーパーもいる。もともと太陽光が少ない国なので、健康のため陽に当たることを代々継承してきた歴史があるの



だろうが、夏の間、太陽から逃れるようにして育った日本人にはイギリス人の太陽崇拜には驚かされるばかりである。
（文・写真：加藤節雄）



在外選挙人名簿登録の 出国時申請制度の導入

海外で国政選挙に投票するための在外選挙人名簿への登録申請が日本国内でもできるようになりました。国外への転出届を提出する際に、市区町村の窓口で在外選挙人名簿登録申請を行ってください。

本年6月1日から、在外選挙人名簿の出国時申請制度（従来の在外公館での登録申請に加え、海外への転出前に、市区町村役場に対する転出届と同時に同じ市区町村の選挙管理委員会に対し、在外選挙人名簿登録申請を行うことができるようになったもの）が開始されました。

すでに住所を海外に移した方は、出国時申請制度のメリットを享受することはありませんが、6月1日以降に海外赴任等で国外に出られる方は、着任後に大使館や総領事館に出向いて手続きすることなく、国外転出後3ヶ月を経過した時点で、本邦内での手続きが終了され次第、在外公館を通じてお手元に在外選挙人証が送付されます。

なお、国外転出後3ヶ月を経過した後の国外での住所確認は在留届で行うため、着任後は必ず在留届を提出するようにお願いします。

出国時申請を行ったのにも拘わらず、在留届を提出していないと国外に居住していないとみなされ、在外選挙人名簿登録はされません。この場合は、住民票の異動を伴う一時帰国をしない限り、従来どおり「来館申請」となりますので、ご注意ください。



国外転出時の市区町村での出国時申請から在外選挙人証入手までの流れは以下の通りとなります。

STEP 1

- ・ **国外への転出届を出す際に、在外選挙人名簿への登録を申請する！**
- ・ 申請時には、本人確認書類（旅券、マイナンバーカード、運転免許、官公庁の身分証明書等）が必要です。申請人から委任を受けた方も手続きはできますが、申請者の本人確認書類に加え、申請者の申出書及び申請に来ている方の本人確認書類も必要です。

STEP 2

- ・ **外国に居住後、在留届を最寄りの在外公館に提出する！**
- ・ 在留届で国外の住所を確認して名簿に登録しますので、忘れずに在外公館へ在留届を提出してください。
- ・ 在留届は、最寄りの在外公館やインターネットで提出できます。

STEP 3

- ・ **在外選挙人名簿への登録が完了！「在外選挙人証」が発行される。**
- ・ 国外の住所が確認されると、名簿に登録されます。名簿に登録されると「在外選挙人証」が交付されます。
- ・ 在外公館から連絡があるので、最寄りの在外公館で、又は郵送で、在外選挙人証を受け取るようになります。

短 信

COMMUNITY PLAZA



今年の酒ソムリエ・チャンピオン

世界一の酒ソムリエを決める「Sake Sommelier of the Year Competition」(酒ソムリエ協会主催)が5月20日(日)ロンドンのナイツブリッジにあるミレニアム・ホテルで開催された。今年第5回目を迎える今大会には世界中から65人が応募、ファイナリストに選ばれた3人がロンドンに集結、ブラインドテストやフードとのペアリング等の審査を受けた。結果はシンガポール航空の乗務員で機内のソムリエを務めるジョシュア・シナサンビーさん(51)が今年の酒ソムリエ・チャンピオンに選ばれた。ジョシュアさんは「本格的に酒の勉強を始めたのは4年前からですが、仕事の関係で前から日本食や酒には興味がありました。機内での酒は地上とは味が違ってくるので、機内食と合わせて、これからますます良い酒を乗客に勧めたいと思います」と語っている。彼は大会出場は今回が3度目で、4年前はセミファイナリスト、2年前はファイナリスト、3度目で優勝となった。「Never Give Up! は私の信条です」とも語っている。(写真①)

日本人女性画家4人展

ロンドンのイーストエンドのギャラリーで、日本人女性アーティスト4人の絵画作品を展示するユニークな展覧会が開かれた。作家はいずれも70歳前後の日本在住のアーティストで、ロ

ンドンでの展示会は初めてという。この展覧会を企画した一般社団法人ジャパン・プロモーションの酒井会子さんによれば、女性アーティストを中心に扱っているロンドンのギャラリーの協力を得て今回の展覧会が実現、応募で選ばれた作家がたまたま70歳前後ただで、特にこの年齢層を選んだわけではないそうだ。作品は日本的な墨絵や書をベースにしたものからモダンアートまで、日本的なものを残しながら、それぞれに個性豊かな画風を取り込み、国際的に通じる作品が多かった。

● Japan Tide

Leyden Gallery : 9 Leyden Street, London E1 7LE

5月28日～6月16日

展示作家：井上博子／宮田記朱／藤井晴子／中村鳳仙(写真②)は井上博子作アクリル画「Flower of a Different Dimension」)

片岡陽子版画展

型染作家、片岡陽子さんが、ロンドンで個展を開催している。片岡さんは東京生まれで、沖縄県立芸術大学で紅型の勉強をした後、2003年に来英、現在はスペインのカタルーニャ地方のジローナの森にある小さな村で制作している。彼女の作品は紅型をベースにした手染めの布プリントのバッグや壁掛けで、草木や小動物をモチーフにしたものが多く、太陽の燦々と輝く明るい感じの色彩感覚が見る人に元気を与えてくれる。(写真③)

● The Uraraka Way by Yoko Kataoka
Sway Gallery : 70-72 Old Street, London EC1V 9AN ⑨ Old Street
7月16日(月)まで
TEL: 020-7637-1700
<http://London.sway-gallery.com>

グリーンコーラス 定期演奏会

日本クラブ女性合唱団「グリーンコーラス」が第30回定期コンサートを開催する。今回は通常の日本や欧州の名曲の他、第30回特別記念として、ラテン語の教会音楽をジャズ風にアレンジしたポップ・チルコットの「a Little Jazz Mass」やシューマンの「ジブシー・ライフ」、ワルツ王ヨハン・シュトラウス作曲の「南国のバラ」等を披露する。(写真④)
指揮：高塚翠華／ピアノ：関屋紀子

● Green Chorus 30th Anniversary Concert

日時：7月7日(土) 3:00～4:45pm
会場：Hinde Street Methodist Church
19 Thayer Street, Marylebone, London W1U 2QJ ⑨ Bond Street
入場無料(寄付金歓迎)

長谷川和香コンサート

Piano 4 handsとして2002年よりデュオで演奏を続ける長谷川和香さんとジョセフ・トングさんのコンサートがサウスバンクで開催される。今年はドビュッシーの死後100周年であり、それを記念するコンサートとして、「ラメール」

短 信

COMMUNITY PLAZA



の他、モーツァルト、シューベルトの作品も演奏される。(写真⑤)

● Waka Hasegawa & Joseph Tong
7月10日(火) 7:45pm
Purcell Room, Southbank Centre
入場料: £10 ~ £20
TEL: 020-3879-9555
www.southbankcentre.co.uk

毛利悠子展

日本をベースに世界で活躍するインスタレーション作家、毛利悠子さんの個展がロンドンで開催される。毛利さんは多摩美術大学、東京芸大大学院を卒業し、磁力や重力等目に見えない力を感じさせるインスタレーション作品を発表し続け、数々の国際展で賞を獲得している。2016年にはV&A博物館、カムデン・アーツ・センターで滞在制作もしている。(写真⑥)

● Yuko Mohri, Voluta
7月6日(金) ~ 9月16日(日)
Camden Arts Centre

Arkrwright Road, London NW3 6DG
📍 Finchley Road / Hampstead
TEL: 020-7472-5550
www.camdenartscentre.org

長谷川逸子講演会

第1回ロイヤル・アカデミー建築賞を受賞した日本人建築家・長谷川逸子氏の講演会が開催される。静岡県出身の長谷川氏は79年に長谷川逸子建築計画工房を設立、伊藤豊雄氏等とともに「野武士」時代の代表格。湘南台文化センターの公開コンペで最優秀賞を受賞し一躍注目を浴びた。「びっぐべん」3月号参照(写真⑦)

● Itsuko Hasegawa Prize Lecture
7月4日(水) 7:00pm
The Benjamin West Lecture Theatre
Burlington Gardens, Royal Academy of Arts, Piccadilly
受講料: £25
www.royalacademy.org.uk/events/architecture-awards-week

世界尺八フェスティバル

尺八の各流派の演奏者が一堂に会し、演奏会やワークショップを開催する世界尺八祭典がロンドンで開催される。今回第7回目になるこのフェスティバルがヨーロッパで開催されるのは初めてで、世界的奏者による16回の演奏会をはじめ、120回のワークショップ、レクチャー、シンポジウム等が開かれる。演奏会では古典本曲、新曲、現代曲だけでなく箏や三味線を加えた三曲も披露される。演奏会やワークショップは一般に公開されている。(写真⑧は尺八の清庵玄心氏)

● World Shakuhachi Festival
8月1日(水) ~ 4日(日)
Goldsmith, University of London
8 Lewisham Way, New Cross
London SE14 6NW
📍 New Cross (Overground)
www.wsf2018.com/jp

日本庭園修復作業が完成 ガーデン・パーティーで祝う

ハマースミス公園の日本庭園に日本の門と石燈籠を設置するプロジェクトが日本クラブ会員企業も協力して進められていたが、7月には工事が完成する見込みとなり、7月29日(日)には完成記念式典とガーデン・パーティーが開催されることになった。この庭園は1910年の日英博覧会の際に造園されたもので、日本クラブでは毎年この日本庭園の清掃作業を行っている。今回

の修復では日本庭園に高さ1.8mの石燈籠を20基設置、正面には日本式の門を建設するというもので、日本大使館、ハマースミス&フラム区、ジャパン・ソサエティー、公園友の会等が中心となって進められてきた。完成を記念するミニ日本祭りでは、ステージでの和太鼓演奏をはじめ折り紙や書道のワークショップ、日本食の露店も開かれる。

● Japanese Garden Party
7月29日(日)
12:30pm ~ 6:00pm
Japanese Garden,
Hammersmith Park
South Africa Road,
London W12 7PA
📍 White City /
Wood Lane
入場無料



「ジャパン・ハウス・ロンドン」がオープン

日本政府により英国における日本文化の発信地として創設された「ジャパン・ハウス・ロンドン」がオープンし、6月22日(金)より一般公開されている。地下鉄 High Street Kensington 駅を出て右に曲がるとすぐに1930年代建築のアー・デコウの建物がある。ジャパン・ハウスはこの建物の一画の、日本式で言えば1階、2階、地階を占めている。最近の英国における日本ブームは伝統文化や芸能だけでなく、現代建築、工業デザイン、若者ファッション、和食、酒に至るまで多様を極めている。ジャパン・ハウスはそんな英国人の日本への興味を反映して展覧会やパフォーマンスをはじめ和食レストラン、旅行案内といった総合的な日本紹介センターとして機能している。



人混みで賑わう「ジャパン・ハウス」

● 1階

<ショップ> 日本のクラフト・デザイン製品を中心に文房具から和紙、台所用品、化粧品までデザイナーの名前を冠した製品が並んでいる。

<The Stand> コーヒーや日本茶、それに日本的なケーキ類も楽しめる。

<旅行案内所> ラグビー・ワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに向けて日本を訪れる人が増えているが、日本政府観光局が旅行情報を提供している。

● 2階

<和食レストラン「明」(Akira)> 日本食シェフの清水明氏の主宰する70席ある本格的和食レストラン。寿司、和牛から炉端焼き、串焼きまで揃っている。バーもあり日本酒、焼酎も飲める。

● 地階

<展示会場> 年3回の日本企画の巡回展の他、ロンドン企画展を開催する。現在は建築家藤本壮介氏の「未来の未来」展が開催中。

<多目的ホール> パフォーマンス・アート公演、講演会、セミナー、映画上映会等に使われる。

<ライブラリー> BACHの幅允孝はばよしただか氏のコンセプトによるライブラリー。



「未来の未来」展



シェフの清水 明氏

Japan House London:

101 - 111 Kensington High Street, London W8 5SA
月~土 10:00 - 20:00、日12:00 - 18:00
レストラン: 月~土 12:00 - 15:00 & 18:00 - 22:30
日 12:00 - 16:00

www.japanhouselondon.uk

第56回日本クラブ年次ゴルフ大会賞品寄贈協賛リスト

(株式会社 / Ltd / Limited / Europe等は省略)

あいおいニッセイ同和損保、いけだレストラン、正田醤油、センターピープル、全日本空輸、東芝、日本航空、日本郵船、富士インダストリーズ、みずほ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱電機、ロンドン東京プロパティサービス、丸紅、三井住友銀行、三井物産、三菱UFJ銀行、三菱商事、商船三井、双日、大和証券キャピタル・マーケットツ、東京海上日動火災保険、CASIO、JTB、KDDI、NEC、NTT



イギリスで脳トレ

ほとんど全てのことにおいて、イギリスと日本のスピードを比べると、日本の方に軍配が上がるでしょう。また、正確さという点でも同様かもしれません。しかし、ある場面での記憶力という点では、イギリスの方が圧倒的に優れているとすることがあります。

いつも決まった人にお茶を入れるのであれば、その人の好みは聞くまでもなく、熟知しています。ジュディー・デンチの出演する映画「マリーゴールド・ホテル1」の最後の場面で、男性が彼女のお茶の好みを聞いたのは、いかにもイギリス的な終わり方で、その後を暗示するものでした。“How do you like it?”という質問は、きっとこれが最初で最後と予見されました。以後は、彼が



彼女にいつもお茶を入れること（つまり親しい間柄になること）が予想され、何事もなかったように、黙ってそっと彼女好みのお茶が差し出されてくることなのでしょう。

この同じ質問は、不特定多数の集まりでもよくされるのですが、イギリス人はメモを取らずに、それぞれの人のお茶の好みを覚えて、間違えずに持ってくるのです。

お釣りの計算があまりできないイギリス人が多いですが、この記憶力には脱帽します。パブでも数人で飲む場合、次のラウンドになった時に買いに行く人は、それぞれの注文を記憶して、正確に持って来ます。

思うに、日本人は正確さを期そうと、すぐに何でもメモを取るがゆえに、個人とその好みのマッチングの記憶力が鍛えられないのではないのでしょうか。毎日、何回となく話しかける相手の名前を繰り返せば、嫌でも個人を意識します。一方日本語では、あまり相手の名前を呼びませんので、個人としての認識が薄れるのかもしれませんが。

しかしこのような場面で私達日本人が一番困るのは、実は相手の好みを覚えられない以前に、自分が何がどう好きなのかを分かっていないことではないのでしょうか。自分の好みを言うのは失礼で、「何でも結構です」と言い続け、相手に合わせてきたからです。ところがイギリスでは、お茶でもビールでも、フィッシュ・アンド・チップスに何をかけるかも、自分が何を欲しているかを即座に言わなくてはならないのです。まずは「汝自身を知れ」であり、それから「自分のしてほしいことを他の人にもせよ」ということなのでしょう。

蛇足ですが、銀行で“How do you like it?”と聞かれたら、それは全部 20 ポンド札でほしいとか、金種を聞かれているのです。簡単な英語ほど難しいですね。

第 56 回年次ゴルフ大会 外山健二さんが優勝



五百旗頭大会委員長（右）からカップを受ける
外山健二さん

今年第 56 回目を迎える日本クラブ年次ゴルフ大会が、朝から晴天に恵まれた 6 月 3 日（日）メイドンヘッド GC で開催された。今年の参加者は 56 名（男性 51 名、女性 5 名）で、熱戦の末、今年からゴルフ同好会代表に復帰した外山健二さん（Kuru Kuru Sushi）が優勝、五百旗頭大会委員長より優勝カップが授与された。例年通り試合後の表彰式ではゴルフ場側からの来賓を迎え、鶴岡大使よりお言葉を頂いた。

●優勝した外山健二さんの話：

長いゴルフ歴（約 40 年）ですが、ダブルバリエ方式には運が無く、今回が初優勝です。何といても隠しホールがバッチリはまったことが勝因と言えます。10 月に行われるメイドンヘッド GC との対抗戦のクリサンシマムカップでも、連勝を目指して今から楽しみです。

優勝：外山健二

（敬称略）

準優勝：谷岡正明

3 位：黒宮和敬

第56回大会賞：宮川典子（大会賞は第56回大会の数字を取り5×6=30位に与えられた）

ベストグロス賞：男性；渡辺秀幸（G74）

女性；星野美奈子（G85）

日本クラブ理事の交代

- ◆ 会員サービス委員会（副）：河道秀俊氏から酒井利典氏へ（ともに日本通運）
- ◆ 無任所：清水季子氏より河合祐子氏へ（ともに日本銀行）

日本クラブ新規加入の法人会員

- ◆ 国立研究開発法人・日本医療研究開発機構 ロンドン事務所
Japan Agency for Medical Research and Development (AMED) London Office
- ◆ Ocean Network Express (Europe)

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆ 月例会：開催中
- ◆ 会場：Maidenhead Golf Club
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956-551363（外山健二）
kenjitoyama787@gmail.com
随時入会受付中（申し込みはHPから）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆ 例会：毎週木曜日（11:30 開始）
- ◆ 会場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
(<http://ycbc.co.uk/>)
- ◆ 問い合わせ：reikoe@btinternet.com（榎枝）
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆ 練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆ 会場：Trinity Church, Golders Green
- ◆ 問い合わせ：mail@tokukojay.demon.co.uk
（大谷トク子）

日本クラブ囲碁会

- ◆ 例会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆ 会場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane Exit 3 より直進2分
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ（www.nipponclub.co.uk）の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- * 建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。（会員証の提示を求められることもあります）
- * 閉館時間以外はシャッターが閉まっています。入場出来ません。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street
Southwark, London SE1 0NZ

TEL : 020-7921-9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜～金曜 : 午前10時～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜 : 午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 通学バス利用可



ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

● 日本クラブ 在英日本企業300社がサポートしています / 英国で50年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科
小児科
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断・婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科・小児科を中心とした一般診療に加え、健康診断、乳幼児検診、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRIなどの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続が可能です。

旅行
保険で
キャッシュ
レス

www.nipponclub.co.uk/clinic

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)

60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線St John's Wood駅から徒歩3分)

020-7266-1121

（要予約、年末年始と祝日を除く毎日診療）